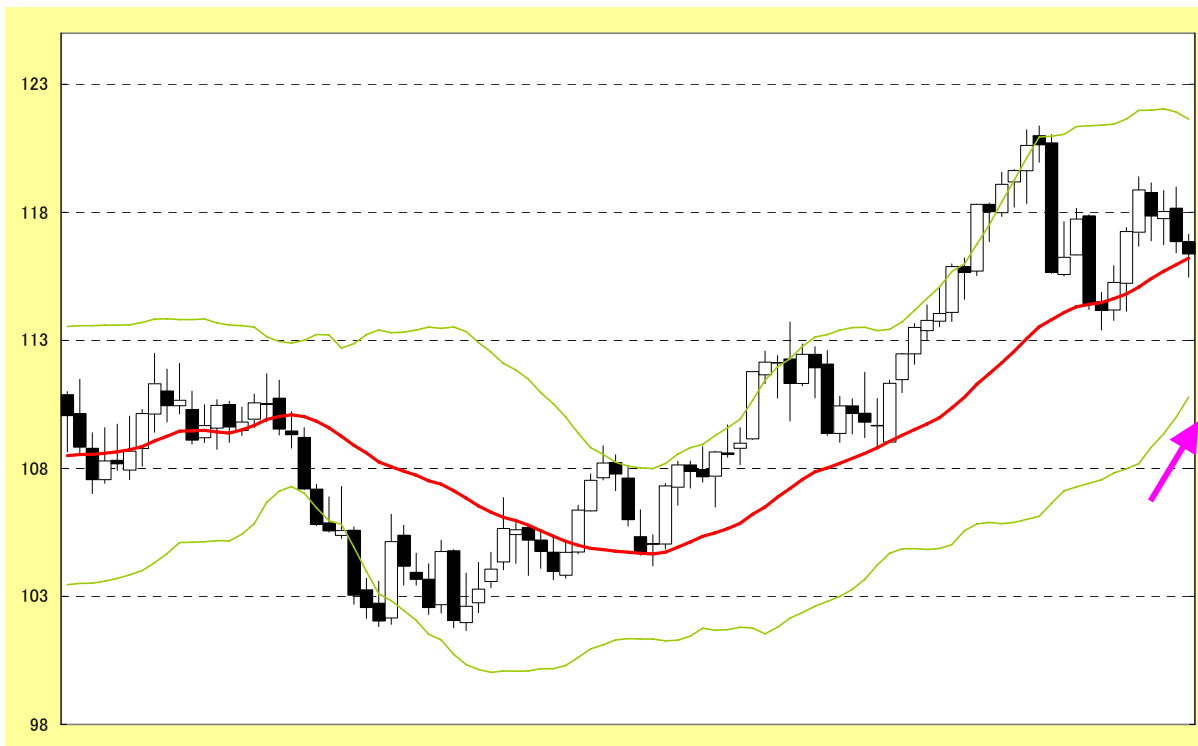


ドル／円(3/5) 中期ドル高トレンドの分岐点。スワップ派は押し目買い水準。



コメント

26週ボリンジャーバンドによると、中期的なドル高トレンドの分岐点となる116.21円近辺で推移していることが分かる。先週の終値は116.38円。12月、1月の急落時、さらに直近3週間の下落も、26週移動平均線でサポートされる形となった。

今週の終値で26週線を維持できるかが注目される。114円台など明確に下落トレンドになれば、ボリンジャー -2σ となる110円台までの下落もありそうだ。

一方で、低金利の円が調達通貨であるファンダメンタルズはまったく変わっておらず、ボリンジャーの下限も上昇中。ドル買・スワップ派にとっては、押し目買い水準になりそうだ。

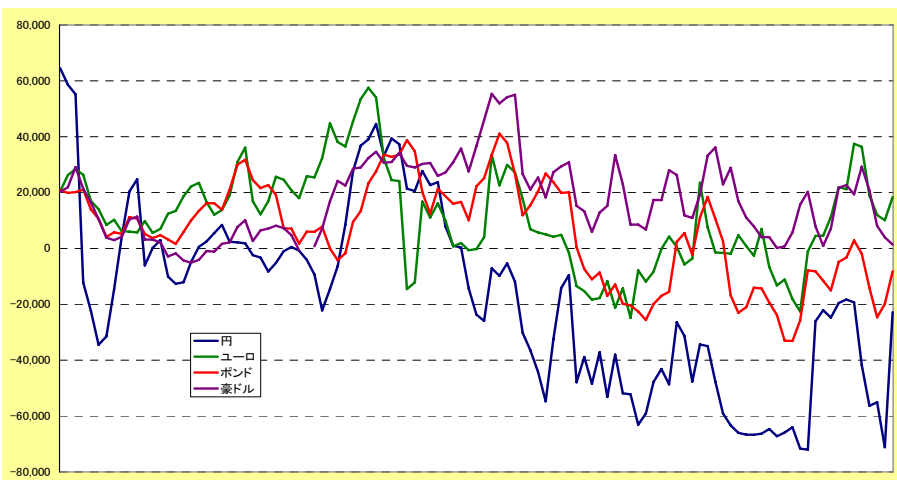
テクニカル・レート

ボリンジャー $+2\sigma$ =	121.64円	先週始値 =	116.86円
26週移動平均線 =	116.21円	先週高値 =	117.15円
ボリンジャー -2σ =	110.79円	先週安値 =	115.47円
		先週終値 =	116.38円

今週の投資例

トレンド = 上昇
 現在値 = 116.38円
 エントリー = 116.20円でロング
 指値 = 120.20円
 逆指値 = 114.20円

投機筋の円売り持ち大幅減、ユーロは利上げで買われる展開

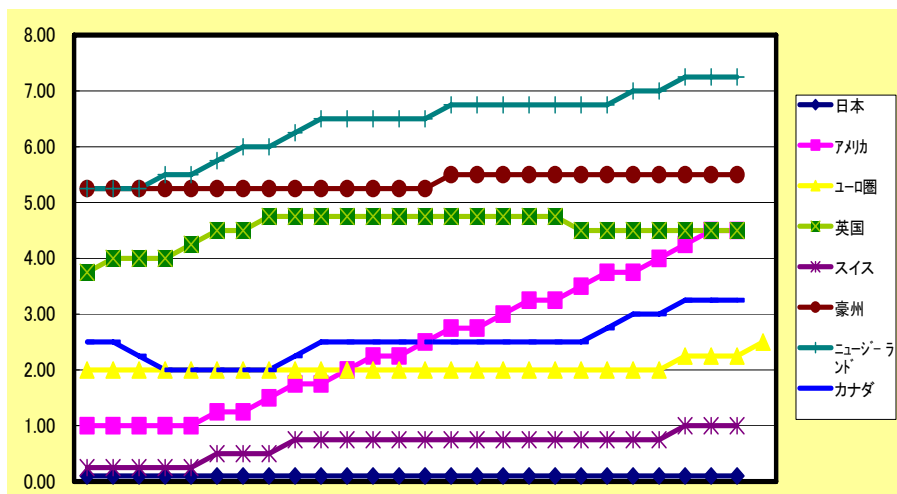


IMM投機筋ポジション動向

2月28日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲2.2万枚。先週から約+4.8万枚と大幅に円買い越しになった。市場ではそれを受け、円キャリートレードの解消の噂が広まった。

ただ、28日のドル円相場は115.75円。直近3月3日は116.38円とドルが買われる展開になっている。

▲2万枚水準は、年末年始のドル急落時の水準。本当に円キャリートレードが解消されるのか、それとも押し目買い水準で再びキャリートレードが再開されるのか注目される。



各国金利動向

先週は、ユーロが+25bpの利上げを行い、2.50%とした。予想通りの結果だったが、ユーロは上昇。対ドル、対円ともに買われる展開に。

今週は、英国、カナダ、豪州、NZ、そして日本と政策金利が発表される。カナダは利上げ見通し。その他は据え置き予想。英国は据え置き予想も、今後の金融政策を見守りたいところ。

日本の量的緩和解除に市場の注目が集まっているものの、以前円の低金利は目立っている。世界的に利上げ基調の中、円が資金調達通貨であることに当分変化はなさそうだ。